

2021年11月8日

宮城県教育委員会教育長 様

宮城県美術館の現地存続を求める県民ネットワーク
共同代表 石川善美 西大立目祥子 野家啓一 早坂貞彦

宮城県美術館のリニューアルに関する県民からの意見の提出についての要望書

拝啓 県政運営のためにご尽力いただいております事、御礼申し上げます。

宮城県美術館県民ギャラリーで9月15～19日に開催しました「みんなで祝おう！宮城県美術館40歳のハッピーバースデー展」（以下、「県美40周年イベント」と略）に足をお運びいただき、心より感謝申し上げます。お陰様で、約700名の方が展覧会にお越しになり、40年間の宮城県美術館の歴史と、教育普及活動、建築の特徴などの展示をじっくりとご観くださいました。

この会場では、ご来場の皆様に「宮城県美術館での思い出」「これからの美術館、どうなったらいいですか？」「美術教育関係者からの意見」の3点について、各々の思い（コメント）を書いていただき、その用紙をそのまま展示するという参加型の展示スペースを設けました。最終日までに寄せられたコメントは、「宮城県美術館での思い出」が156枚、「これからの美術館、どうなったらいいですか？」が140枚、「美術教育関係者からの意見」が7通にも及び、日に日に壁を埋めていくコメントに、県民の美術館に寄せる思いの深さを実感したところです。

展覧会期間は宮城県が新型コロナウイルスの蔓延防止期間中であったため、来場者のほとんどは宮城県在住の方々でした。300に及ぶコメントは40年に渡る宮城県美術館と県民とのつながりを教えるものであり、またこれからの美術館に寄せる期待であるといえます。私たちはこれらのコメントを宮城県美ネットに託された県民の声＝もう一つのパブリックコメントであると考えました。

私たちは去る7月21日に質問・要望書を提出し、宮城県美術館のリニューアル改修設計については、リニューアル検討委員の先生方の意見もいただきながら進めていくという回答をいただきました。また、美術館の増築なしの基本方針について県民説明会の開催を要望したところ、今後の設計を進める中で、リニューアル検討委員からリニューアル方針の反映状況についてご意見をいただき、県議会にも報告するというご回答でした。

この回答を受け、私たちは、宮城県に宮城県民の声を届ける方法を模索しておりましたので、この「県美40周年イベント」に寄せられた多くの県民の意見を提出し、今後の宮城県美術館リニューアル設計や、今後の美術館運営に反映していただくよう要望いたします。

また、あわせて、今後リニューアル設計が進んだ段階で、是非とも県民に対しての情報の公開を行っていただきますことを要望いたします。

敬具

記

- (1) 「県美40周年イベント」に寄せられた県民の声を、宮城県生涯学習課にとどめることなく、宮城県美術館、リニューアル検討委員、宮城県美術館協議会委員、リニューアル設計者、
そして宮城県民会館整備担当課である消費生活・文化課へ情報提供してください。
そして、今後の宮城県美術館リニューアル設計や美術館運営に対しての宮城県民の意見として、反映いただくようお願いいたします。

- (2) 宮城県美術館リニューアル設計の基本設計が完了した時点で、県民に対しての情報公開を要望します。その方法として、県民説明会の開催を強くお願いいたします。

事務局 〒982-0801 仙台市太白区八木山本町1-38-3
メールアドレス miyagikenbi.net@gmail.com
Fax: 022-707-5303



↑ 開催2日目のコメント



↑ 展覧会最終日のコメント掲示の様子



← 「美術館での思い出」を書いたメッセージ 展覧会最終日の様子
(会場の各々のパネル下にも掲示あり)



← 「これからの美術館、どうなったらいいですか？」を書いたメッセージ
展覧会最終日の様子